

第1回シンポジウムを開催しました テーマ：排泄



6月5日にリソースナース会初の試みで、シンポジウムを開催しました。このシンポジウムでは日頃行っている日常の看護をテーマに挙げて、各認定分野からテーマに関する内容を語ってもらいました。記念すべき第1回は、生きていく上で当たり前の行為だけど、加齢や疾患などによりうまく行えないなど、患者さんにとって困りごとが多い「排泄」をテーマに、4分野の認定看護師からのプレゼンテーションと意見交換が行われました。

考えてみよう



オムツの中は熱帯雨林！？

皮膚・排泄ケア分野では、オムツの中は熱帯雨林のような高温多湿な状態で、患者さんにとっては大変不快で、皮膚が浸軟し損傷しやすい状態となっていること、感染管理からは尿や便の性状について紹介などがありました。



お願い！！ わたしをトイレに連れてって！！

認知症看護からは認知症患者への排泄ケア方法、がん化学療法看護からは抗がん剤による排泄への影響や、暴露を防ぐための排泄物の処理方法など、これまでの排泄ケアを見直す内容でした。

多くのスタッフに参加していただき、初めてのシンポジウム形式での「排泄」の研修は、皆さんにとって関心が高いことを感じました。参加者からは「とても参考になり、日頃の看護ケアに取り入れたいと思いました」「排泄ケア全般に通ずるものであり、関わり方など参考になりました」「抗がん剤は使用していない人でも排泄物から曝露するので、周囲の方への配慮が必要だと感じました」「本人の視点を大切にするケア、人間らしさは排泄の自立によって保たれることを再度認識しました」「看護を語る良い機会だったと思います」などの意見を多くいただきました。

次回は10月に「睡眠」をテーマに看護を熱く語り合いたいと思います。このシンポジウムが看護スタッフの皆さんにとって楽しく実りある時間となるよう、今後も企画していきたいです。皆様のご参加をお待ちしております。

